

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
093-331-6395（交通部安全対策課）

第126号 平成28年7月

「マリンレジャー安全レポート」は、「海の安全レポート」に生まれ変わりました。

BACKNUMBER

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anken_report/

海水浴シーズン到来 海水浴場等での事故多発中！

梅雨も明け、学校も夏休みに入り、いよいよマリンレジャー活動も最盛期を迎える季節となりました。この時季は、海水浴、磯遊び、釣り、クルージングなどを楽しむ人が増えます。

第七管区では、海水浴場などで、事故防止指導を行っています。残念なことに毎年多くの海浜事故が発生しています。

今回は、このうち2件の海浜事故について紹介します。

～ 海水浴場での事故事例 ～

7/2 福岡市東区奈多海岸

福岡市東区奈多海岸において、遊泳中の女子高校生4名が、付近の潮の流れにより沖に向かって流され始め、危険を感じたことから、浜に戻ろうとしましたがなかなか戻れず、3名は何とか戻ることが出来たものの、1名は沖合い約30mまで流されてしまいました。

近くで遊泳していた男性2名が救助に向かいましたが救助することができず、岸壁でバーベキューをしていた男性3名が応援に向かい、無事に救助されました。

当時の状況から6月号でも紹介した離岸流によるものと推測されます。

離岸流を抜け出すには、
海岸線と平行に泳ごう！



7/9 長崎市琴海町の海水浴場

長崎市琴海町の海水浴場において、父親が5歳の息子（救命胴衣着用）を浮き輪にのせ、足がつく浅瀬付近で遊泳していたところ、気がつくと足がつかない場所にまで来ていました。

このとき、沖向けの下げ潮と陸岸からの風により、自分一人の泳力では息子と一緒に岸に戻ることが出来ないと判断した父親は、岸で待つ母親に 118番通報 を依頼しました。

母親が 周囲にも救助を求めた ことから、近くにいた女性が救助に向かい、息子の乗る浮き輪を押す手助けを行い無事に戻ることが出来ました。

まずは落ち着いて、
付近の人たちに助けを求めよう！！



～海水浴を楽しむために～

- ・ 遊泳禁止場所で泳がない
- ・ 遊泳禁止発令中は泳がない
- ・ 体調不良時や飲酒後などは泳がない
- ・ 自分の泳力を過信しない
- ・ 一人で泳ぎに行かない
- ・ 小さな子供からは目を離さない
- ・ 連絡手段（海のもしもは118番）を確保する



知っていますか？ 7月編

海の事故ゼロキャンペーン

7月16日（土）から7月31日（日）までの間、「海難ゼロへの願い」をスローガンに＜海の事故ゼロキャンペーン＞を実施しています。

キャンペーン期間中、全国各地で行う、海難防止講習会や巡視船の体験航海などを通じて、3つの重点事項を呼びかけます。

- ・ 小型船舶の海難防止
- ・ 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
- ・ ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保



今月の Topic 画像

浮くっちゃボトル



今回は、「浮くっちゃボトル」を紹介します。

この「浮くっちゃボトル」は福岡県にある若松海上保安部が考案した物で、ペットボトルを利用した、応急的な救命用具の代用品です。

また、溺れている人を見つけた際、身の周りに浮輪などの浮く物が無い場合には、飲みかけのペットボトルなどでも十分な浮力を得ることができます。ペットボトルのように軽い物でも、少量の水を入れることで、遠投することができます。

【浮くっちゃボトルの作り方】

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/wakamatsu/ukucchabottle.html>